

令和5年度

シラバス



学校教育目標

「賢く 逞しく 温かく」

川口市立北中学校

所在地 〒333-0835 川口市大字道合364-2

電話 048(295)1008

FAX 048(295)6808

本校 HP にも掲載されております。

シラバス

～川口市立北中学校の評価規準と方法～

評価の付け方と3つの観点との関係

評価の付け方について

○各観点の評価がすべてA

→評価は5か4となる（3～1にはならない）

○各観点の評価がすべてB

→評価は3のみとなる

○各観点の評価がすべてC

→評価は2か1となる（5～3にはならない）

★詳細は、各教科より説明があります。

評価の規準

（1）「観点別学習状況」の評価の観点

①自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などの能力の育成に重点が置かれます。

②評価の観点の項目は次の3項目になります。

・「知識・技能」 ・「思考・判断・表現」 ・「主体的に学習に取り組む態度」

（2）「観点別学習状況」の評価の方法

学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、

・目標の実現の状況が「十分満足できると判断されるもの」 A

・目標の実現の状況が「おおむね満足と判断されるもの」 B

・目標の実現の状況が「努力を要すると判断されるもの」 C

の3段階で記入されます。

観点別学習状況の評価は、一人一人の可能性を積極的に評価するねらいがあります。中間テストや期末テストの結果だけに評価の重点がおかれるわけではありません。日常の学習活動の中から生徒の良い面を見つけて、それを伸ばすように評価します。したがって、ペーパーテストの他に、授業中の観察、レポート、作品、ノートの作成、課題の発表・討議などあらゆる場面をとらえて評価します。

（3）評定方法

教科の評定の欄は、学習指導要領に示す目標をもとに具体的な評価規準を定めています。学習の状況がどの程度達成できたかを総括的に評価するものです。

・「十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの」 5

・「十分満足できると判断されるもの」 4

・「おおむね満足できると判断されるもの」 3

・「努力を要すると判断されるもの」 2

・「一層努力を要すると判断されるもの」 1

【国語科】

学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する「知識および技能」を、社会生活における様々な場面で、主体的に活用することができる。	社会生活における人間と人間の関係の中で、互いの立場や考えを尊重し、言語を通して正確に理解したり適切に表現したりする力を高めることができる。 言語を手掛かりとしながら論理的に思考する力や、豊かに想像する力を養うことができる。	言葉によって自分の考えを形成したり、新しい考えを生み出したりすること、言葉から様々なことを感じたり、感じたことを言葉にしたりすることで心を豊かにすることなど、言葉が持つ価値について認識することができる。 話したり聞いたり書いたり読んだりする具体的な言語活動の中で、相手、目的や意図場面や状況などに応じて、どのような言葉を選んで表現するのが適切であるかを判断することができる。 古代から現代までの各時代にわたって表現し、受容されてきた多様な言語芸術や芸能などに関わり、我が国の歴史の中で育まれてきた国語を尊重して、その能力の向上を図る態度を養うことができる。
方法	・ 定期テスト ・ 授業内での小テスト ・ 課題レポートの内容	・ 定期テスト ・ グループワークの活動状況 ・ 授業中の発言・思考内容 ・ スピーチや発表の内容 ・ 課題レポートの内容	・ 単元ごとの振り返りの内容 ・ 単元課題レポートの内容 ・ グループワークの活動状況 ・ 授業中の発言内容・態度 ・ 授業中の課題に向かう姿勢 ・ 音読・暗唱などに取り組む態度

【社会科】

学習の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向け選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論する力を養うことができる。	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めることができる。
方法	・定期テスト ・授業内での小テスト ・レポート ・課題(テーマ)に基づく作品 ・資料やグラフの読み取り問題 ・授業中の発言内容	・定期テスト ・授業内での小テスト ・レポート ・課題(テーマ)に基づく作品 ・グループワークの活動状況 ・授業中の発言・思考内容	・レポート ・単元のまとめ振り返り ・グループワークの活動状況 ・定期テスト ・授業中の発言内容・態度 ・プリント・ノートなどに記載する自己意見

【数学科】

学習の目標

数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して問題を解決するために必要な数学的な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学の良さを知り、数学と実社会との関連についての理解を深め、数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善しようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする能力がある。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの背景を見出したり等号的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力がある。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度がある。
方法	・定期テスト ・授業内での小テスト ・レポート ・授業内の発言内容 ・授業内の問題演習	・定期テスト ・授業内での小テスト ・レポート ・グループワークの活動状況 ・授業内の発言・思考内容 ・授業内の問題演習	・レポート ・グループワークの活動状況 ・授業内の発言内容・態度 ・定期テスト ・プリント・ノートなどに記載する自己意見

【理科】

学習の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通じて、自然の事物・現象を科学的に探求するために観察・実験などに関する基本的な技能、科学的に探求する力、自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を育成することを目指す。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	日常生活や社会と関連付けながら、自然現象や科学現象などを理解しているととともにそれらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然現象や科学現象を調べる観察や実験などを行い、科学的に考察して判断している。 また見通しをもって観察や実験などを行い、その結果を分析して解釈するとともに、科学的に考察して判断している。	自然現象や科学現象などの事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
方法	・定期テスト ・授業内での小テスト ・実験や観察の取り組む姿勢 ・レポート内容 ・課題(テーマ)に基づく作品 ・データ処理(計算)やグラフ作成の状況 ・授業中の発言内容 ・実技テストの結果や取り組み方	・定期テスト ・授業内での小テスト ・レポート内容 ・課題(テーマ)に基づく作品 ・グループワークの活動状況 ・授業中の発言・思考内容 ・実験や観察の考察 ・実技テストの結果や取り組み方	・レポート内容 ・単元のまとめ振り返り ・グループワークの活動状況 ・定期テスト ・授業中の発言内容や態度 ・実験や観察の取り組む姿勢 ・プリント・ノートなどの記入状況 ・実技テストの結果や取り組み方

【音楽科】

学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊に関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	曲想と音楽の構造改や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どの様に表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
方法	・定期テストなし ・授業内での実技テスト ・授業中の活動、発言	・定期テストなし ・グループワークの活動状況 ・授業中の発言・思考内容 ・楽譜やワークへの書き込み	・学習カードに記載する自己意見、まとめ ・グループワークの活動状況 ・授業中の発言内容・態度

【美術科】

学習の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・表現するための基本的な技能を身につけ、制作時にその技能を使うことができる。 ・多様な表現方法造形要素に関心を持ち、自己の表現方法を創意工夫することができる。 ・自分で課題を見つけ、それに取り組むことができる。	・感じ取ったり、考えたりしたことをもとに、豊かに発想し構想することができる。 ・作品の完成までの確かな計画を立てることができる。 ・自分の作品や他人の作品のよいところを素直に感じ取り、自然や美術作品などについて基礎的な理解や見方を広げることができる。 ・作家や作品について、作品や資料から情報をよみとり、自分の意見や思いを述べることができる。	・美術への興味関心を持ち、作品を最後まで完成できる。 ・授業規律を遵守し、課題ごとの目標を決め、必要な用具、材料を準備したり、活用することができる。 ・表現や鑑賞などの創造活動の喜びを味わい、美術を愛好できる。 ・生活の中に美術的感覚を取り入れることができる。
方法	・鑑賞の活動における発表やワークシートの記述 ・課題(テーマ)に基づく作品	・鑑賞の活動における発表やワークシートの記述 ・アイディアスケッチ ・課題(テーマ)に基づく作品	・鑑賞の活動における発表やワークシートの記述 ・単元のまとめ振り返り ・授業中の発言内容・制作などに取り組む態度

【技術・家庭科（技術分野）】

学習の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを旨とする。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
方法	・ 定期テスト ・ 実技テスト ・ 課題(テーマ)に基づく作品 ・ 授業中の発言内容 ・ ワークシート	・ 定期テスト ・ ワークシート ・ 課題(テーマ)に基づく作品 ・ 授業中の発言・思考内容	・ ワークシート ・ 単元のまとめ振り返り ・ グループワークの活動状況 ・ 定期テスト ・ 授業中の発言内容・態度

【技術・家庭科（家庭分野）】

学習の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに係る技能を身につけている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
方法	・ 定期テスト ・ 授業内での小テスト ・ レポート ・ 製作物 ・ ワークシートの内容 ・ 授業中の発言内容 ・ 実技テスト	・ 定期テスト ・ 授業内での小テスト ・ レポート ・ 製作物 ・ グループワークの活動状況 ・ 授業中の発言・思考内容 ・ ワークシートの内容	・ レポート ・ グループワークの活動状況 ・ 定期テスト ・ 授業中の発言内容・態度 ・ プリント・ノートなどに記載する自己意見 ・ 実習計画表 ・ 実習の態度 ・ 製作物

1・2年生では、技術分野と家庭分野を前期・後期制で授業を行っています。

	前期	後期
1年生	家庭分野	技術分野
2年生	技術分野	家庭分野

※前期の評価は2学期、後期の評価は3学期につきます。1学期の評価は空欄になります。

※3年生は隔週で技術分野と家庭分野の授業を行うので毎学期に評価がつきます。

【保健体育科】

学習の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
方法	• 技能の到達度 • 種目の記録 • 技能テスト • 定期テスト • 授業中の発言内容	• 活動中の思考・判断・表現内容 • 授業中の発言・思考内容 • ワークシートの思考内容	• 意欲的な態度 • グループ・ペア活動状況 • 授業中の発言内容・態度 • ワークシートに記載する自己意見

【英語科】

学習の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指す。

評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	知識 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 技能 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について文章を聞いたり読んだりして、その内容をとらえる技能を身に付けている。 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、発表したり、書いたりする技能を身に付けている。	・ コミュニケーションを行う目的や場面状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についての文章を聞いたり読んだりして、必要な情報や概要、要点を捉えている。 ・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合ったり、発表したり、書いたりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手や書き手に配慮しながら、主体的に英語で聞いたり読んだりしようとしている。 主体的に英語を用いて伝え合ったり、発表したり、書いたりしようとしている。
方法	・ テスト（定期テスト・小テストなど） ・ ワークシート ・ パフォーマンステスト など	・ テスト（定期テスト・小テストなど） ・ グループワーク、ペアワークの活動状況 ・ ワークシートの記述内容 ・ パフォーマンステスト など	・ 授業への取り組み ・ 提出物・課題への取り組み ・ グループワーク・ペアワークへの取り組み ・ テスト(定期テスト・小テストなど)の取り組み ・ パフォーマンステストへの取り組み など